

平成22年度事務事業実績及び前期4年間取組評価表

事務事業名	運動による健康づくり事業	会計	一般会計	事業No.	242	施策順No.	31-005
		事業種別	政策・その他	予算科目	4-1-3-11-3		
政策	3 健やかに安心して暮らせるまちづくり			課等名	保健課		
施策	31 心と体の健康づくり	事業期間	開始	15	終了		

1 事業の目的

事業の目的は「対象」を「意図」した状態にすることです	対象	40歳以上の市民(=介護保険対象者)					A十分達成した Bどちらかといえば達成した Cどちらかといえばできていない Dほとんど達成できていない							
	誰、何に	具体的な数値で表すと(対象指標)						19年度	20年度	21年度	22年度	23年度		
		40歳以上の人口 人							63471	63374	63040			
	意図	①自分に適した運動を実践継続する ②身体能力の維持向上を図る ③バランス能力の向上や筋力アップを図る												
対象をどう変えるか	意図	事業の成果を具体的な数値で表すと(成果指標)					19年度実績	20年度実績	21年度実績	22年度目標	22年度実績	23年度目標	目標達成度	
		運動講座に参加後、週2回以上の運動が習慣化された割合(男、女%)					24.6	17.0	27, 26	33, 20	30, 26	32, 38	25	A
		19年度・・・教室に参加し、効果があったと感じた人の割合 20年度・・・1年以上前から1回30分以上の運動を週2回以上行っている割合					98	25.4	28	25	28.4	25		
22年度の目標達成度に対する振り返り【政策的事業のみ評価】		この事業がきっかけとなり、運動が習慣化された人の割合は増加傾向にあり、今後もより多くの市民への普及を図る。												

2 手段(具体的な取り組み内容)

事業の制度(仕組み)説明	健康いいた21推進事業として、生活習慣病予防や健康寿命の延伸を目的に、年代に応じた筋力・バランス能力等をアップするための運動教室を開催する。		
	事業内容	名称	活動量・単位
22年度事業内容	1 ウェルビクスフォロー教室(18地区) 2 運動実践講座(男性筋力アップ講座、ウォーキング講座)とフォロー 3 他課が実施する自転車イベント事業への協力	1 ウェルビクス教室数 2 運動実践講座 教室数 3 イベント	1 18教室 2 新規2 継続4
23年度実施計画	1 ウェルビクスフォロー教室(18地区) 2 運動実践講座(男性筋力アップ講座、ウォーキング講座) 3 他課が実施する自転車イベント事業への協力と知識の普及	1 ウェルビクス教室数 2 運動実践講座 教室数 3 イベント	1. 18教室 2. 新規2

3 事業コスト

事業費	(千円)		22年度予算額	22年度決算額	23年度予算額	特定財源内訳、補足事項	(県)健康増進事業補助金(2/3) 279千円
	特定財源	国庫支出金					
		県支出金	460	279	181		
		起債					
		その他					
		一般財源	1,569	793	402		
		計(A)	2,029	1,072	583		
		正規職員所要時間		3,000			
		臨時職員等所要時間					
		人件費計(B)		10,728			
		トータルコスト A+B		11,800			

4 事業に対する市民や議会の意見

<ul style="list-style-type: none"> <li>・17年度ウェルビクス教室受講者に実施したアンケート調査では、主観的効果ありが84.8%であった。</li> <li>・教室への市民の受講申し込みが多く効果が期待されている。</li> </ul>
---

**5 行財政改革の取組内容【経常的事業のみ評価】**

行財政改革の取組区分	【記載不要】	具体的な取組事項	【政策的事業のため記載不要】
21年度決算と比べての効果額(千円)	【記載不要】	効果額説明(算出根拠)、特殊要因	【政策的事業のため記載不要】

**6 前期4年間の取組評価(総括)**

上位の施策への結びつき	上位施策の目的	市民が心身ともに健康を保つ	施策の成果指標又はムトス指標	心身ともに健康であると感じている市民の割合 % 一人当たりの国保医療費
この事務事業は施策の目的達成にどのよう に貢献しましたか	4年間の振り返り	この事業を通じて、実際に運動を正しい方法で行うことで、運動の効果を実感していただき、習慣化するきっかけとなった。またストレス解消、仲間づくりといった精神面での効果もあった。		
	後期に向けた課題	運動を切り口に健康的な生活習慣について考える内容を入れ込んでいく。		
この事務事業の成果を向上させるためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	男性限定の健康教室を開催したり、時間帯、内容の工夫をし、より多くの人に参加していただけるようにした。教室終了時には各々で運動継続できるよう資料など配布した。また健診結果から生活習慣病のハイリスクの人に呼びかけを行った。自転車による健康づくりでは他課との連携の中でPRした。		
	後期に向けた課題	健診事業との連携、PR方法等の工夫により、新たな参加者を発掘していく。		
コストを削減するためにどのような工夫を してきましたか	4年間の振り返り	安価で安全であり、かつ生活の中により入れることができる運動の方法を提案した。運動実践教室では、期間限定(3か月)の教室として開催している。また、講師がいなくても自主運営できる体制づくりを進めてきた。		
	後期に向けた課題	教室の継続と自主化、講師の派遣について		
受益者負担の程度、市が関与する程度は適切でしたか	4年間の振り返り	医療費抑制につながるため、市で取り組む必要がある。		
	後期に向けた課題	教室の継続		
多様な主体の役割の発揮状況 ①その主体は誰で、どのような役割を果たしましたか。 ②その主体が役割を發揮するために、行政はどのような働きかけをしてきましたか、又は、配慮してましたか	4年間の振り返り	①主体は市民で、参加することで健康づくりの意識が高まり、実践へとつながる。 ②健康づくりのために、日常生活に取り入れやすく、有効な内容を企画し、市民へ提供した。		
	後期に向けた課題	運動実践講座では新たな対象者発掘のための選定方法、PR方法を検討する。 ウェルビクスフォローでは、大学の支援が終了したため、自主グループの支援方法を検討する。		
全体を通じて	4年間の振り返り	ウォーキング、ずくバンド、自転車など取り組みやすい運動を切り口に、身体活動量の増加、運動の習慣化に取り組んだ。習慣化は徐々に効果が出てきており、腹囲減少などの身体的変化も出ている。		
	後期に向けた課題	運動をきっかけに、食事についても考えることができる工夫をしていく。効果的で取り組みやすい運動方法、種類を検討していく。		

**7 「対象」「意図」「結果」の関係の確認**

事務事業を統合・分割する必要はありますか	ない	対象や意図を修正する必要はありますか	ない	成果指標や指標値を修正する必要はありますか	ない
----------------------	----	--------------------	----	-----------------------	----

**8 総合評価・次年度の事業の方向性改善の計画**

<input type="checkbox"/> 完了	<input type="checkbox"/> 拡大	<input type="checkbox"/> 縮小	<input type="checkbox"/> 別事業に統合	<input type="checkbox"/> 休止廃止	<input checked="" type="checkbox"/> 現状維持	<input type="checkbox"/> 目的見直し	<input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善
-----------------------------	-----------------------------	-----------------------------	---------------------------------	-------------------------------	--	--------------------------------	--